

風にそよぐ木々の緑もまぶしい季節を迎え、今年度第1号のT・TAK新聞です。IHI 播磨病院が誕生し 100 周年を迎えます。地域の皆様と共に 100年という節目を迎えられることに喜びにあふれておりますが、本年度も頑張ってお参ります。



もの忘れ外来を紹介します！

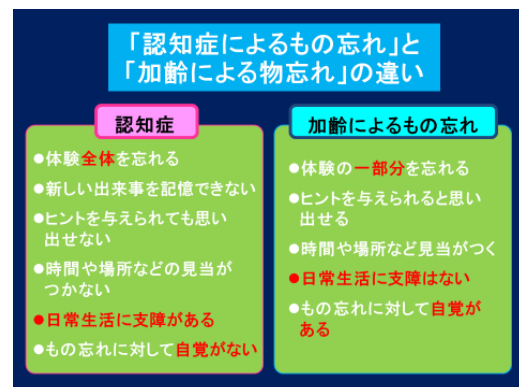
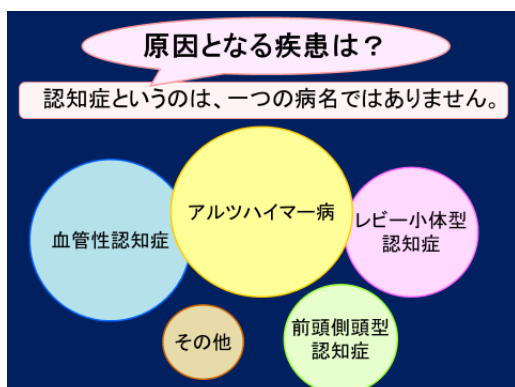
* こんにちは！！今回は、「もの忘れ外来」について、武本先生にお伺いしました！！

さまざまな原因の認知症について

IHI 播磨病院神経内科（認知症外来）担当
武本麻美

岡山大学病院神経内科より、毎週第2週と5週の金曜日にIHI 播磨病院で認知症ではないかと心配な患者様の診察をしております。2015年4月より外来を開始し、早いもので3年目の夏が来ました。さて、この度TTAKに投稿する機会を頂きましたので、認知症の診察をどのように施行しているのかをご紹介します。

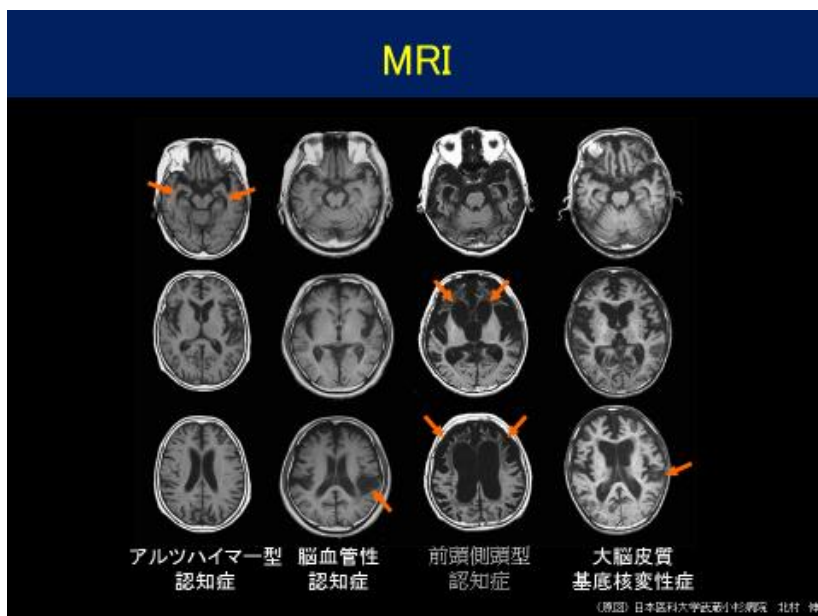
まず、認知症と私たちが呼ぶ中には、下の図に示すような病気があります。一番患者さんの数（割合）が多いのがアルツハイマー病で、最近では脳卒中（脳梗塞・脳出血）の治療が進歩した結果、高齢者認知症の2番目に多いとされている血管性認知症が減ってきており、今まで3番目に患者さんの多かったレビー小体型認知症の人数が診断の精度があがってきていることもあり増えてきています。レビー小体型認知症は、パーキンソン病の患者さんが示すような手のふるえや関節の動かしにくさも症状として出てくる認知症で、また、居ないはずの人や物がみえる「幻視（げんし）」に悩まされる病気です。前頭側頭葉型認知症は性格の変化が顕著になる認知症です。



外来では、最初の症状から診察の日までの症状の経過を聞かせて頂き、診察と認知機能検査（質問に答えてもらって点数を出しています）からどの種類の認知症だろうか、と考えて、処方するお薬を選んでいきます。今の医学では認知症を「治す」薬はないのですが、進行を抑える薬があり、まだその種類は少ないのですが、それぞれの認知症ごとに薬の選択を考え、患者さんの腎臓の機能や心臓の機能にも注意して薬を処方しています。

検査の際の質問内容はこの原稿に記載出来ないのですが（それを見て診察前にトレーニングしてしまう患者さんもおられるかもしれませんが）、IHI 播磨病院では黄色の間診用紙、ピンク色の用紙（一般的な認知機能検査の質問内容です）を施行しています。特別に必要と評価した患者さんだけ、青色の用紙で検査をする前頭葉機能検査も通院開始数回以内に施行する事もあります。青色の紙は前頭葉機能を評価する検査項目となっています。

診察と質問をして点数を出す検査を終了したら、次に、どの程度脳が委縮しているのか、そして自覚症状として気がついていなくても過去に脳梗塞や脳出血を起こした事はないか（それが原因で認知症症状を発症することもあります）頭部 MRI 検査（MRI の撮影が制限されている患者さんには CT 検査）を施行しています。抗認知症薬を処方する前に不整脈はないか、心臓の機能は大丈夫か、そして腎臓の働きは正常か確認するために、必要な患者さんには血液検査や心電図検査を施行し評価した後に抗認知症薬や抗血小板薬を処方しています。そして、診察をして検査をして薬を処方するだけでなく、患者さん 1 人 1 人の生活環境を維持するためのアドバイスを行っています。



私たちの外来で大切にしていますのは、患者さん 1 人で認知症という病気と向き合うのではなく、家族の方にも患者さんの状態を理解して頂いて、そして一人暮らしの患者さんは福祉の方の力もかりて今の生活水準をなるべくさげないように相談しながら治療を進めるということです。ですので、原則、検査結果はすべて患者さんと一緒にご家族の方（介護者）に聞いて頂いております。

もしももの忘れ症状が心配な場合、一度外来を受診頂ければと存じます。予約制になっており、原則家族など主たる介護者付き添いのもとで来院頂いております（個別の特別な事情に関しては出来る限り柔軟な対応を心がけています）。お薬手帳を持っておれば診察日には持参するようにして、気軽に受診下さい。

早期発見・早期対応の意義

- 認知症を呈する疾患のうち可逆性の疾患は、治療を確実に行うことが可能
- より早期からの薬物療法による進行抑制が可能
- 本人が変化に戸惑う期間を短くでき、その後の暮らしに備えるために、自分で判断したり家族と相談できる
- 家族等が適切な介護方法や支援サービスに関する情報を早期から入手可能になり、病気の進行に合わせたケアや諸サービスの利用により認知症の進行抑制や家族の介護負担の軽減ができる

お忙しいところお話いただき、本当にありがとうございました。
今年もこれまで以上に播磨病院の各部門、医師の紹介をPRしたいと考えています。
次回のT・TAK新聞はさて何を紹介するかはお楽しみにしてください。

今年度より、『介護教室』を改め『にこにこ教室』に教室名が変わりました。
『にこにこ教室』もよろしくお願いいたします。

T・TAK新聞のバックナンバーは、「IHI 播磨病院ホームページ」
<http://www.harima-hp.jp> からご覧いただけます。

by : T.O / K.T

